

財政金融委員会

委員一覧 (25名)

委員長	佐藤 信秋 (自民)	中西 祐介 (自民)	横山 信一 (公明)
理事	西田 昌司 (自民)	野上 浩太郎 (自民)	音喜多 駿 (維新)
理事	藤末 健三 (自民)	藤川 政人 (自民)	上田 清司 (民主)
理事	宮島 喜文 (自民)	宮沢 洋一 (自民)	小池 晃 (共産)
理事	牧山 ひろえ (立憲)	元榮 太一郎 (自民)	大門 実紀史 (共産)
理事	秋野 公造 (公明)	勝部 賢志 (立憲)	浜田 聡 (みん)
	櫻井 充 (自民)	古賀 之士 (立憲)	渡辺 喜美 (みん)
	末松 信介 (自民)	水岡 俊一 (立憲)	
	中西 健治 (自民)	宮口 治子 (立憲)	(会期終了日 現在)

(1) 審議概観

第204回国会において本委員会に付託された法律案は、内閣提出5件であり、いずれも可決した。

また、本委員会付託の請願15種類184件は、いずれも保留とした。

〔法律案の審査〕

令和元年度歳入歳出の決算上の剰余金の処理の特例に関する法律案は、令和二年度第3次補正予算の編成に当たり、令和元年度の一般会計歳入歳出の決算上の剰余金の処理について、特例措置を定めようとするものである。

委員会においては、決算上の剰余金を補正予算の財源として活用する意義、新型コロナウイルス感染症拡大を踏まえた補正予算の在り方等について質疑が行われ、多数をもって原案どおり可決された。

所得税法等の一部を改正する法律案は、ポストコロナに向けた経済構造の転換及び好循環の実現、家計の暮らしと民需の下支え等の観点から、国税に関し、所要の改正を一体として行おうとするものである。

財政運営に必要な財源の確保を図るための公債の発行の特例に関する法律の一部を改正する法律案は、令和3年度から令和7年度までの間の各年度における公債発行の特例措置を定めようとするものである。

委員会においては、両法律案を一括して議題とし、菅内閣総理大臣に対する質疑を行うとともに、格差是正に向け、税の再分配機能を強化する必要性、租税特別措置の政策効果の検証の在り方、特例公債を発行できる期間を5年間とした理由、財政健全化目標の達成に向けた道筋等について質疑が行われ、両法律案はいずれも多数をもって原案どおり可決された。なお、両法律案に対し、それぞれ附帯決議が付された。

関税定率法等の一部を改正する法律案は、最近における内外の経済情勢等に対応するため、関税率等について所要の改正を行おうとするものである。

委員会においては、税関における水際取締り強化の方策、関税等の納付手段の多様化等について質疑が行われ、全会一

致をもって原案どおり可決された。なお、附帯決議が付された。

新型コロナウイルス感染症等の影響による社会経済情勢の変化に対応して金融の機能の強化及び安定の確保を図るための銀行法等の一部を改正する法律案は、新型コロナウイルス感染症等の影響による社会経済情勢の変化に対応して金融の機能の強化及び安定の確保を図るため、銀行等の業務範囲の見直し、預金保険機構が資金を交付する制度の創設等の措置を講じようとするものである。

委員会においては、銀行等の業務範囲の見直しによる効果、資金交付制度の概要と意義等について質疑が行われ、多数をもって原案どおり可決された。なお、附帯決議が付された。

〔国政調査等〕

3月9日、財政政策等の基本施策及び金融行政に関する件について麻生国務大臣から所信を聴取した。

3月16日、前記所信聴取に対し、新型コロナウイルス感染症により疲弊する地方自治体への支援の必要性、新型コロナウイルス感染症に係る経済対策及び補正予算の効果に対する評価、令和3年度予算編成において小学校の全学年を対象とした35人学級の導入を財務大臣が受け入れるに至った経緯、緊急事態宣言下における最近の景気動向と迅速な予算執行に向けた財務大臣の決意、東日本大震災からの復興の財源を増税で賄った意義、米ドル換算での我が国名目GDPが30年間低迷している状況に対する財務大臣の見解、新型コロナ対策資本金劣後ローンの利用状況、東日本大震災発生後にとられた金融政策に対する日銀総裁の所見等について質疑を行った。

3月22日、予算委員会から委嘱された内閣府所管（金融庁）、財務省所管、株式会社日本政策金融公庫及び株式会社国際協力銀行の予算の審査を行い、同人誌等即売会等の集客型イベント中止時における個人事業主等への支援の在り方、日銀の金融政策決定会合における「より効果的で持続的な金融緩和を実施していくための点検」の結果に関する財務大臣の所見、自動車安全特別会計の積立金の将来見通し、中央銀行デジタル通貨の開発について日銀が米国との連携を強化する必要性、名目GDP成長率についての政府経済見通しとIMF世界経済見通しとの間のかい離や政府経済見通しと実績との間の大きなかい離が見られる要因、損害保険代理店に対する大手損害保険会社の優越的地位の濫用ともいふべき事案に係る金融庁の対応策、日銀の政府預金の残高が増大している理由及び今後の見通し等について質疑を行った。

4月13日、**金融機能の再生のための緊急措置に関する法律第5条の規定に基づく破綻金融機関の処理のために講じた措置の内容等に関する報告**（令和元年8月8日及び令和元年12月10日提出）について、麻生内閣府特命担当大臣から説明を聴取した後、建設現場における「快適トイレ」の導入に向けた政府の取組状況、小規模事業者の経営実態を踏まえた今後の資金繰り・事業継続支援策の在り方、預金保険機構の金融機能強化勘定において利益剰余金が減少した要因、2%の物価安定目標が達成されていない理由、地域金融機関のデジタルサービス拡充と業務委託先の信頼性確保の必要性、日銀の経済・物価の見通しが公表資料によって異なっている可能性、損害保険代理店に対する大手損害保険会社の優越的地位の

濫用ともいふべき事案に係る金融庁の対応状況、「より効果的で持続的な金融緩和を実施していくための点検」における金利変動幅拡大の決定と最近の日銀総裁の国会答弁との整合性等について質疑を行った。

5月13日、日本銀行法第54条第1項の規定に基づく通貨及び金融の調節に関する報告書（令和2年6月23日及び令和2年12月11日提出）について、黒田日本銀行総裁から説明を聴取した後、新型コロナウイルス感染症対策として接触感染に対する注意喚起を強化する必要性、物価安定目標の達成が任期中には困難である

ことに関する日銀総裁の所感、新型コロナウイルス感染症の影響の長期化に伴う企業への支援拡充に対する財務省及び日銀の見解、日銀が掲げる物価安定目標が達成された際の金利水準に係る日銀総裁及び財務省の見解、銀行法改正により銀行の業務範囲規制等が見直された場合の日銀考査への影響と考査体制を整備する必要性、2%の物価安定目標を達成できない理由及び達成に向けた新手法の有無、日銀がETF買入れへの対応の見直しを行って以降の買入れ実施の際の判断基準、米国におけるインフレ懸念に対する日銀総裁の所見等について質疑を行った。

(2) 委員会経過

○令和3年1月28日(木) (第1回)

- 財政及び金融等に関する調査を行うことを決定した。
- 政府参考人の出席をを求めることを決定した。
- 令和元年度歳入歳出の決算上の剰余金の処理の特例に関する法律案(閣法第3号)(衆議院送付)について麻生財務大臣から趣旨説明を聴き、麻生国務大臣、政府参考人及び会計検査院当局に対し質疑を行い、討論の後、可決した。

[質疑者]

藤末健三君(自民)、古賀之士君(立憲)、秋野公造君(公明)、音喜多駿君(維新)、上田清司君(民主)、大門実紀史君(共産)、渡辺喜美君(みん)

(閣法第3号)

賛成会派 自民、公明、維新、民主、みん
反対会派 立憲、共産

欠席会派 無(河井あんり君)

○令和3年3月9日(火) (第2回)

- 財政政策等の基本施策及び金融行政に関する件について麻生国務大臣から所信を聴いた。

○令和3年3月16日(火) (第3回)

- 政府参考人の出席をを求めることを決定した。

- 参考人の出席をを求めることを決定した。

- 財政政策等の基本施策及び金融行政に関する件について麻生国務大臣、中西財務副大臣、丹羽文部科学副大臣、政府参考人及び参考人日本銀行総裁黒田東彦君に対し質疑を行った。

[質疑者]

宮島喜文君(自民)、牧山ひろえ君(立憲)、勝部賢志君(立憲)、秋野公造君(公明)、音喜多駿君(維新)、上田清司君(民主)、大門実紀史君(共産)、渡辺喜美君(みん)

- 所得税法等の一部を改正する法律案(閣法第7号)(衆議院送付)

財政運営に必要な財源の確保を図るための公債の発行の特例に関する法律の一部を改正する法律案(閣法第4号)(衆議院送付)

以上両案について麻生財務大臣から趣旨説明を聴いた。

○令和3年3月22日(月) (第4回)

- 政府参考人の出席をを求めることを決定した。
- 参考人の出席をを求めることを決定した。
- 令和三年度一般会計予算(衆議院送付)
令和三年度特別会計予算(衆議院送付)
令和三年度政府関係機関予算(衆議院送付)

(内閣府所管(金融庁)、財務省所管、株式会社日本政策金融公庫及び株式会社国際協力銀行)について麻生国務大臣から説明を聴いた後、同大臣、中西財務副大臣、政府参考人、参考人日本銀行総裁黒田東彦君及び同銀行決済機構局長神山一成君に対し質疑を行った。

[質疑者]

藤末健三君(自民)、古賀之士君(立憲)、秋野公造君(公明)、音喜多駿君(維新)、上田清司君(民主)、大門実紀史君(共産)、渡辺喜美君(みん)

本委員会における委嘱審査は終了した。

- 参考人の出席を求めることを決定した。
- 所得税法等の一部を改正する法律案(閣法第7号)(衆議院送付)

財政運営に必要な財源の確保を図るための公債の発行の特例に関する法律の一部を改正する法律案(閣法第4号)(衆議院送付)

以上両案について麻生国務大臣、中西財務副大臣、政府参考人、参議院事務局当局及び参考人日本銀行総裁黒田東彦君に対し質疑を行った。

[質疑者]

西田昌司君(自民)、勝部賢志君(立憲)、牧山ひろえ君(立憲)、秋野公造君(公明)、音喜多駿君(維新)、上田清司君(民主)、大門実紀史君(共産)、浜田聡君(みん)

○令和3年3月23日(火)(第5回)

- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- 所得税法等の一部を改正する法律案(閣法第7号)(衆議院送付)

財政運営に必要な財源の確保を図るための公債の発行の特例に関する法律の一部を改正する法律案(閣法第4号)(衆議院送付)

以上両案について麻生国務大臣、中西財務副大臣、宮崎環境大臣政務官、こやり厚生労働大臣政務官、和田内閣府大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行った。

[質疑者]

櫻井充君(自民)、藤末健三君(自民)、牧山ひろえ君(立憲)、古賀之士君(立憲)、勝部賢志君(立憲)、秋野公造君(公明)、

音喜多駿君(維新)、上田清司君(民主)、大門実紀史君(共産)、浜田聡君(みん)

○令和3年3月25日(木)(第6回)

- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- 所得税法等の一部を改正する法律案(閣法第7号)(衆議院送付)

財政運営に必要な財源の確保を図るための公債の発行の特例に関する法律の一部を改正する法律案(閣法第4号)(衆議院送付)

以上両案について麻生国務大臣及び政府参考人に対し質疑を行った。

[質疑者]

勝部賢志君(立憲)、牧山ひろえ君(立憲)、音喜多駿君(維新)、上田清司君(民主)、大門実紀史君(共産)、浜田聡君(みん)

○令和3年3月26日(金)(第7回)

- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- 所得税法等の一部を改正する法律案(閣法第7号)(衆議院送付)

財政運営に必要な財源の確保を図るための公債の発行の特例に関する法律の一部を改正する法律案(閣法第4号)(衆議院送付)

以上両案について菅内閣総理大臣及び麻生財務大臣に対し質疑を行い、討論の後、いずれも可決した。

[質疑者]

古賀之士君(立憲)、音喜多駿君(維新)、上田清司君(民主)、大門実紀史君(共産)、渡辺喜美君(みん)

(閣法第7号)

賛成会派 自民、公明、維新、みん

反対会派 立憲、民主、共産

(閣法第4号)

賛成会派 自民、公明、みん

反対会派 立憲、維新、民主、共産

なお、両案についてそれぞれ附帯決議を行った。

- 関税定率法等の一部を改正する法律案(閣法第11号)(衆議院送付)について麻生財務大臣から趣旨説明を聴いた。

○令和3年3月30日(火)(第8回)

- 政府参考人の出席を求めることを決定した。

○関税込率法等の一部を改正する法律案（閣法第11号）（衆議院送付）について麻生国務大臣、中西財務副大臣、長坂経済産業副大臣及び政府参考人に対し質疑を行った後、可決した。

〔質疑者〕

牧山ひろえ君（立憲）、音喜多駿君（維新）、
上田清司君（民主）、大門実紀史君（共産）、
浜田聡君（みん）

（閣法第11号）

賛成会派 自民、立憲、公明、維新、民主、
共産、みん

反対会派 なし

なお、附帯決議を行った。

○令和3年4月13日（火）（第9回）

- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- 参考人の出席を求めることを決定した。
- 金融機能の再生のための緊急措置に関する法律第5条の規定に基づく破綻金融機関の処理のために講じた措置の内容等に関する報告に関する件について麻生内閣府特命担当大臣から説明を聴いた後、防災・減災対策における保全の在り方に関する件、地域金融機関による事業継続支援に関する件、預金保険機構の財務状況等に関する件、金融緩和政策の現状に関する件、子ども・子育て支援施策の財源に関する件、税務調査手続のデジタル化に関する件、中央銀行デジタル通貨に関する件等について麻生国務大臣、赤澤内閣府副大臣、長坂経済産業副大臣、政府参考人及び参考人日本銀行総裁黒田東彦君に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

秋野公造君（公明）、牧山ひろえ君（立憲）、
古賀之士君（立憲）、西田昌司君（自民）、
音喜多駿君（維新）、上田清司君（民主）、
大門実紀史君（共産）、渡辺喜美君（みん）

○令和3年5月13日（木）（第10回）

- 理事の補欠選任を行った。
- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- 参考人の出席を求めることを決定した。
- 日本銀行法第54条第1項の規定に基づく通貨

及び金融の調節に関する報告書に関する件について参考人日本銀行総裁黒田東彦君から説明を聴いた後、中西財務副大臣、政府参考人、参考人日本銀行総裁黒田東彦君、同銀行理事山田泰弘君及び同銀行理事内田眞一君に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

櫻井充君（自民）、牧山ひろえ君（立憲）、
勝部賢志君（立憲）、秋野公造君（公明）、
音喜多駿君（維新）、上田清司君（民主）、
大門実紀史君（共産）、渡辺喜美君（みん）

○新型コロナウイルス感染症等の影響による社会経済情勢の変化に対応して金融の機能の強化及び安定の確保を図るための銀行法等の一部を改正する法律案（閣法第52号）（衆議院送付）について麻生内閣府特命担当大臣から趣旨説明を聴いた。

○令和3年5月18日（火）（第11回）

- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- 新型コロナウイルス感染症等の影響による社会経済情勢の変化に対応して金融の機能の強化及び安定の確保を図るための銀行法等の一部を改正する法律案（閣法第52号）（衆議院送付）について麻生国務大臣、赤澤内閣府副大臣、政府参考人及び会計検査院当局に対し質疑を行い、討論の後、可決した。

〔質疑者〕

宮島喜文君（自民）、勝部賢志君（立憲）、
古賀之士君（立憲）、秋野公造君（公明）、
音喜多駿君（維新）、上田清司君（民主）、
大門実紀史君（共産）、浜田聡君（みん）

（閣法第52号）

賛成会派 自民、立憲、公明、維新、民主、
みん

反対会派 共産

なお、附帯決議を行った。

○令和3年6月16日（水）（第12回）

- 理事の補欠選任を行った。
- 請願第52号外183件を審査した。
- 財政及び金融等に関する調査の継続調査要求書を提出することを決定した。
- 閉会中における委員派遣については委員長に

一任することに決定した。